

すてっぴ



令和 8 年 6 ・ 7 月
舞鶴市立余内小学校
通級指導教室 75-0379



通級指導教室の理解指導をしました



まもなく梅雨の季節に入ります。じわじわと気温も高まってくる季節でもありますが、子どもたちは元気な姿で通級指導教室に通っています。例年通り、入学式には、保護者へ向けて通級指導教室についての説明をしたり、始業式には、全校児童に担当者の紹介や活動内容について話したりしました。

4月中旬頃からは、朝学習の時間に各学級の教室で、大型テレビでスライドを見せながら、活動内容を詳しく話したり、体験を通して説明したりしました。体験では、正しく発音するための「口や舌の体操」、聞いた文字を頭の中で並べ替える「聞く活動」、言われた動物を見つけ出す「見る活動」等を行いました。通級指導教室に通う児童は、それぞれ決めた目当てに向かって一生懸命に取り組んでいることも丁寧に説明をしました。そこで、通級指導教室に通っている友達が気持ちよく通うことができるような言葉をかけてほしいと担当者から伝えました。どの児童も興味を持って聞いたり、意欲的に体験したりすることができ、通級指導教室について理解を深めることができました。今後も余内小学校・中舞鶴小学校の保護者や担任と連携を図りながら、取り組んでいきたいと思ひます。

年度当初の指導では、それぞれ今年度の目当てを決めて、どのような力を付けていくかを確認しています。「すてっぴ～みんなで力を合わせて一歩ずつ～」という通級指導教室での目標のもと、一人一人に寄り添いながら力を付けていくことができるよう支援していきます。



理解指導の様子



6月の予定



- 1日(月) 1年生通級教室体験
- 3日(水)～ 本校通級児童担任参観
- 17日(水)～ 本校通級児童保護者参観



7月の予定

- 17日(金) 1学期終業式
- 21日(火)～ 舞鶴市教育相談



余内小通級児童 保護者参観!

別紙にてお知らせしましたが、子どもたちの通級指導教室での様子や指導について、ぜひ参観していただきたいと思ひます。お忙しい中ですが、どうぞよろしくお祈ひします。ご都合が悪い場合は通級指導教室までご連絡ください。また、担任参観の週も設け、児童理解を深めたり今後の指導に活かしたりしていきます。(中舞鶴小学校は2学期に予定をしています。)

少しずつ暑い日が多くなってきましたので、水筒と汗が拭けるタオルかハンカチを持たせてください。よろしくお祈ひします。





バランスにかかわる「平衡感覚」



平衡感覚とは体の揺れや傾き、回転などを感じ取り、身体のバランスをつかさどる感覚です。

身体のバランスの変化に応じて、目の動きや筋肉の緊張、姿勢などをコントロールする感覚とも言われています。夏休みに向けても平衡感覚を体験できる運動に意識をして取り組ませたいものです。

姿勢や眼球運動をコントロール

平衡感覚は、主に姿勢のコントロールにかかわっています。耳の中にある三半規管や耳石器と呼ばれる部位がセンサーとなって、重力や加速度を認知し、身体のバランスを調節します。例えば身体が右に傾いた時は、筋肉の張り具合を調節する固有感覚と連動して左側の筋肉の張り具合を高め、頭を垂直に保つように調整します。

視線を安定させるセンサー



平衡感覚は、眼球の動きにも作用しています。顔の前に人差し指を立てて、目で見てください。この人差し指を左右に振ると、指がぶれて見えます。次に同じスピードで人差し指ではなく、顔を左右に振ってください。指はあまりぶれずに見えます。これは平衡感覚が頭の傾きを感じ、視線を安定させているためです。デジタルカメラの手振れ防止機能のような役割です。

集中力や学習意欲にも影響

椅子に姿勢よく座っていられたり、教科書や教材をしっかり見て、黒板の文字を書き写したりできるのは、平衡感覚がきちんと働いているおかげです。平衡感覚につまずきがあると、視線の動きや姿勢が安定しないため、学習に集中できなくなることもあります。学習意欲や生活態度の安定に非常に重要な役割を果たす感覚です。



平衡感覚が敏感だと

- ・乗り物酔いをしやすい
- ・文字などの読み飛ばしが多い
- ・動く遊具が苦手 など

平衡感覚が鈍感だと

- ・姿勢を真っすぐ保てない
- ・黒板の文字をノートに書き写すのが苦手
- ・頭や体をいつも動かしている など



平衡感覚を調整しよう



平均台やトランポリンでバランスをとる活動は、平衡感覚を育てます。まずは、小さな段差から跳び下りる、スケートボードに腹ばいで乗るなど安心して活動できる活動がお勧めです。

引用文献「発達の気になる子の感覚統合遊び」川上康則監修 ナツメ社